

日時：2010年10月23日(土) 13:30～16:30

場所：大阪YMCA会館 2Fホール

各クラブのロータリー財団委員長を対象とする本会議は、松本新太郎G、近藤雅臣RI理事、高島凱夫GN、池尻誠代表幹事、各組G補佐、G補佐E及び財団役員と各委員約100名の出席を得て開催されました。

松本新太郎G挨拶

ロータリー財団について、もう一度考えていただく機会にさせていただきです。財団がこれまでどういった活動をし、活用をして何ができるのか財団に関する様々なことに改めて思いを巡らせていただきたいです。

1. 福家宏ロータリー財団委員会委員長

ロータリー財団の成り立ち、財団プログラムの種類と内容、「ロータリー 2億ドルチャレンジ」については、2010年8月現在1億4,000万ドル以上の寄付金が寄せられている。そして、ロータリー財団の「未来の夢計画」が2013-2014財団の転換期を迎えます。財団プログラムや補助金の名称、委員会構成にも変化があります。

2. 五味千秋財団人道的補助金委員会委員長

主として下記3点について解説をされました。

- ①ロータリー財団の財源の推移・地区財団活動資金(DDF)配分の推移
- ②年次プログラム基金の配分
- ③マッチンググラントの仕組みと実施手順・地区補助金(DSG)の仕組みと実施手順

3. 吉崎広江研究グループ交換委員会委員長

2010-2011、2011-2012年度は、スリランカ(D3220)と2年度にわたる来日・派遣の交換を行います。

4. 梅崎道夫財団奨学金・学友委員会委員長

第2660地区2011-2012年度ロータリー財団国際親善奨学生候補生梶藍子さんの紹介がありました。

5. 百済洋一財団情報・増進委員会委員長

年次プログラム基金への寄付の重要性・ロータリーカードの財団貢献プログラムについて報告をしました。

6. IM組別 テーブルミーティング

- ①あなたのクラブはロータリー財団月間に何をしますか？
- ②あなたはクラブ財団委員長として寄付増進のためにどのように活動しますか？

をテーマに、IM組別にG補佐のリーダーのもと約1時間熱心な討論がされ、各G補佐から討論結果が発表されました。

近藤雅臣RI理事講評

ロータリー財団活動に熱心に取り組んでいただきありがとうございます。奉仕のために資金を集めているという意識が重要です。自分自身で奉仕活動を行うことができない場合でも、寄付という形で奉仕に参加できるという考え方もありますから、財団委員長の皆さんには、世界の奉仕活動の為に頑張ってくださいと思います。

高島凱夫GN閉会挨拶

